

## 令和4年度 児童デイサービスこすもす自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			
	②	職員の配置数は適切であるか	✓			法律で定められた有資格者を規定以上の人数配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			✓	トイレは、段差があり狭いため車いすでの使用はできません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			✓	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			児童発達支援管理責任者が企画する職場内研修を月に1回実施しています。子どもの気持ちに寄り添うための特性の理解や、良い支援を行うための職員のメンタルヘルス等を学びました。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			保護者に記入いただくアンケート用紙をより充実した内容に変更し、職員全員で話し合って作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			季節の行事など子どもたちが喜ぶイベントを皆で相談して企画しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			買い物レク(昼食を自分で選んで買って食べる)が好評でした。今後もいろいろな企画を積極的に行います。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			コロナ禍で長期休みのイベントは限られたものになってしまいましたが、感染状況を見ながらできる範囲で工夫し、楽しい時間を提供しました。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			一人一人の発達の状況に応じて、遊びを通じた友だちとの関わりの中での課題を中心に、計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			毎日のミーティングには十分な時間をかけ、子どもの様子や気づきを共有しながら課題を見つけ対応を検討しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓			記録の整理と同時に振り返りを行っています。翌日のミーティングの際に改めて時間をかけて話し合っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	✓			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	✓			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		✓		保護者を通じ指示をいただいています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		✓		保護者や相談支援員を通して情報を得ていましたが、必要に応じて情報共有に努めます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		✓		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			こまめに相談や報告等を行い、連携しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		✓		
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓			「障がいについての理解・啓発活動」のチームに所属し、研修の企画、実施を行いました。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			連絡帳に記入したり、送迎時に口頭などで、活動内容や様子(成長を感じたエピソードや気になること等)を伝え、家や学校での様子も伺うようにしています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	✓			「お茶会」として保護者同士が気軽に話せる交流の場を設けています。日頃の気になることを話し合うなどして、気持ちを共有したり、情報交換等を行っています。続けてほしいと好評をいただいています。
保護	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			契約書・重要事項説明書に明記して説明しています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓			

者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		週1回の頻度で、写真を中心に日々の活動をブログにアップしています。LINEも活用し、イベントのお知らせや、すぐに連絡が必要な送迎時のやりとり等を行っています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	✓		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓		施設の軒先に「みんなのいす」を設置し、地域の方の休憩場所として提供しています。バスを待つ方や散歩中のひと休みに使っていただいています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓		職員全員で、年度初めや感染症が流行する時期などにマニュアルを繰り返し確認しています。保護者へは契約時や面談の際などに説明し、災害伝言ダイヤルの手順カードを携帯していただくようお渡ししています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		避難訓練を年2回実施しています。ブログで訓練時の写真を見ていただいたり、連絡帳等でも実施報告し、保護者に安心していただけるよう配慮しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓		身体拘束の定義を再検討し、怪我等を防止するために、やむを得ず子どもの動きを制止する行為についても、記録し、保護者へ説明させていただきます。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		✓	保護者を通じ指示をいただいています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		毎日のミーティングで共有し記録しています。